

経営理念の浸透で、 社員とお客様に愛される企業づくりを実現

アルファテックス 株式会社

会社概要

設立：1988年
所在地：東京都品川区西五反田 8-1-5 五反田光和ビル
資本金：4040万円
従業員数：132名



「コンサルティングサービス」「業務サービス」「ITサービス」の3つのサービスを関連させながら、オフィスの業務改善、課題解決に向けた仕組みをご提供します。お客様の成長・発展をいつまでも支え続けるパートナーとして、事業を展開しています。

社員、お客様、地域の人全員が
幸せになる会社を作りたい



代表取締役社長
石川 春

コンピュータが普及すればするほど「人」を大切にすることを忘れていけないことを常日頃から肝に銘じています。

ITが発展し新しい技術が普及しても、社会の主役は「人」です。コンピュータに使われるのではなく、使う側の立場であり続けるために、アルファテックス株式会社では「人こそ財産だ」という考えを常に大切にしてきました。「人」のために、どのような取り組みを行っているのでしょうか。石川社長にお話を伺いました。

この記事のポイント

- ① 理念を具体化したコア・バリューの策定
- ② 地域社会との交流を通じた新たな気づき
- ③ ハートフルな活動で「人」中心の世の中を目指す

コア・バリューの策定で一人ひとりの意識改革

経営理念の浸透のために、コア・バリューを策定されたそうですね。

私たちは根っこの部分で大切にすることは同じでありたいという想いがあります。会社の経営理念「率先垂範」「使命完遂」に対する捉え方はさまざま構いませんが、常日頃から経営理念を意識して働くことを最も大切にしています。そこで、社員の意識を統一するために、コア・バリューを策定して、働く目的がぶれないようにしています。

2012年に10人くらいの社員でコア・バリュー（企業が重要視する信念や価値観）を作成しました。経営理念を浸透させたいと以前から思っていたのですが、社員全員に理解してもらうことが難しかったので、一人ひとりが身近に感じられるように、理念をコア・バリューに落とし込みました。会社が生き活きとするために、また、お客様が笑顔になるためには何をしたらいいのか考えながら、8項目のコア・バリューにまとめました。伝えたいことはたくさんありますが、とくに「時間という価値があるものを、他者に使うような人でいて欲しい」「社員やお客様、協力会社を仲間として考え、それぞれの立場に立って考えられる人になって欲しい」という願いを込めています。

コア・バリュー ～大切にしていること～

1. 自分に素直（誠実・正直・謙虚）でいよう
2. 気づき、そして行動しよう
3. 目的を考え、全力を尽くそう
4. 自分らしさを伸ばし、活かそう
5. 仲間のために時間を作ろう
6. 仲間と協力し、最高のパフォーマンスを出そう
7. 仲間を称え、感謝の気持ちを伝えよう
8. 自分たちの可能性にチャレンジしよう

—— コア・バリューを浸透させるための工夫を教えてください

社内にコア・バリューを掲示して、いつでも社員の目に入るようにしています。また、社内イベントであるALFA 座談会では経営理念とコア・バリューをテーマに話し合う機会を設け、社員への浸透を図り、コア・バリューに沿って行動できたかどうかを評価項目に入れていきます。会社として大切にしたいことを共有することで結束力が生まれ、仕事の効率化やモチベーションアップにつながっていると感じています。



Point! コア・バリューを策定するメリット

経営理念を社内に浸透させるために、コア・バリュー（企業が重要視する信念や価値観）を策定することが有効です。コア・バリューを定めることで社員のベクトルが一つになり、チーム力と一人ひとりのワークエンゲージメントが向上します。顧客との信頼関係も築けるでしょう。



地方活性化のお手伝いで、理念に沿った行動を実践

アルファテックスは、システムを提供するだけでは真の意味でお客様のためにならないと考えています。システムを提供してからがスタートといっても過言ではありません。お客様が今何に困っているのか、お客様が見ている世界に感度良く気づくために、社会を知っておく必要があります。例えば、都会と地方では環境や感覚が全く異なります。都会にいる我々は、もっと地方のことを知らなければいけないと考えています。

長野県小海町が提供しているイベントに社員が参加したことがきっかけで、地方の町が抱える課題を知りました。これまでに、文化芸術を広めるためのオペラを一緒に創り上げたり、新しい名産品を作る目的でワインづくりを応援したりと、小海町のための取り組みに参加してきました。交流を深めて地域が本当に求めていると感じ取った上での活動が重要だと思います。



また、社員と家族向けに田植えや稲刈りの体験を行っています。お米の作り方を知り、実際に土に触れることで食への感謝を感じ、健康に対する意識改革にもつながっていると思っています。

非日常な体験が社員の人生のアクセントになっていることが、メンタルヘルスの向上に役立っている実感があります。



——— 小海町での取り組みを通じて気づきはありましたか？

IT 業界で働いていると、どうしても自然に身を置く経験が少なくなってしまう。しかし、小海町でのイベントに参加し業務から取れて離れることで、自分を見つめ直す貴重な機会になっていると思います。自然に触れる、地方の人と交流することが大切なのだと改めて気づかされました。

「新入社員の様子を見てみると、学生から社会人へと環境が変わり、自分でも気づかないうちに無理をしていると感じます。気分転換としてリフレッシュすることも、自分のことをより深く知ることでもできるし、人と関わることの大切さも感じられるので、地方との交流を行なってきて参加して良かったと心から思っています。」とコーポレート本部 西脇さん



コーポレート本部
西脇 智宏



少子高齢化が進んでいる小海町に元気を取り戻そうと考え、多くの活動を実践していくと、昨今の IT はあまりにも人を無視しているのではないかと感じてしまいます。目先の利益ではなく長い目で見て本当に大切なことを見極める、そのような力が試されているのではないのでしょうか。コンピュータが発達してきている今だからこそ、伝統を現代に合わせて変化させながら広め、「人」が中心になる世の中にしたいと考えています。

仲間である社員との時間を大切に



全社員の誕生日を私自らがお祝いするハッピー生誕祭、通称「ハピ誕」を開いています。ラフにコミュニケーションを図ることができ、仕事だけではなくプライベートに関することや、社員の価値観についての会話を皆で楽しんでいます。私への提言を言われることもありますよ。社員がごく自然に言いたいことを話せる時間となっています。

Message

ハートフルな活動を重視した会社づくり

コア・バリューの策定や地域交流など、多くの人材に関する取り組みを行ってきました。創業以来「人は財産」であることを忘れずに行動してきましたが、課題として感じる部分はまだまだ多く残っています。その一つが、会社と社員が対等な立場になることです。社員にとって働きやすく、過ごしやすい環境整備について、目に見えないところまで見直したいと考えています。

IT 技術をフル活用していくスピードが速まる時代の中で、ハートフルな活動と IT を融合させることが重要です。デジタルをうまく活用して、人中心の世の中を整えていきたいという大きな展望があります。生活の中心は人であることを忘れてはいけません。今後も IT の有効活用で「人」を大切に、社員が自分らしく輝ける会社であり続けていきます。